

現場で役立つ「やさしい日本語」ワークショップ

ー在住外国人のよりよい保健医療サービスアクセスのために

「やさしい日本語」は、むずかしい言葉をシンプルな表現に言いかえるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。障がいのある方、高齢者や子どもなど、言葉の理解や聞こえ方に不安がある方たちにも分かりやすくできています。「やさしい日本語」を使えるようになることは、保健医療現場でのコミュニケーション力を向上させるとともに、外国人を含む困難を抱える方たちへの理解を深めるきっかけにもなります。このワークショップに参加すると、それぞれの現場で外国人の方たちに対応する際、きっと役に立ちます！

2025年11月1日(土) 13:00 – 14:30 (90分)

帝京大学 板橋キャンパス 大学本館 208【第2会場】

(〒173-0003 東京都板橋区加賀2-11-1)

[対面のみ、大会参加登録費必要(事前登録は参加者数把握のため)]

<WSプログラム>

1. ミニレクチャー：なぜ役に立つのか？どうやって生まれたのか？コツ
2. エクササイズ：各自で練習問題にトライ
3. グループワーク：事例への対応について、グループ分かれて協議
4. 発表(ロールプレイ)：外国人模擬患者さんと実際にやりとり、
質疑応答

応募はこちらから(大会参加登録も必要です)



問い合わせ先：
JAGH「移民の健康」委員会 岩本
メール：iwamoto.a@jih.go.jp



主催：日本国際保健医療学会「移民の健康」委員会 & 医療×「やさしい日本語」研究会